



岩屋毅(いわや・たけし) 外務大臣と

イベントへの参加

海外日系人大会 2024

2024年10月15日、私はJICA市ヶ谷と海運クラブで開催された「海外日系人大会 2024」に参加し、埼玉県の豊かさを広める機会を得ました。このイベントは、世界各地から集まった日系人が交流し、日本の移民や子孫の経験について意見交換をする貴重な場となり、非常に充実した体験でした。

農業は文化の柱

参加者との会話や情報交換の中で、埼玉県農業の多様性と重要性を強調しました。農業は地域経済を支えるだけでなく、日本の農業文化を守り続けています。私は、米や新鮮な果物、野菜の生産について話し、これらの農産物が伝統的かつ現代的な技術で育てられ、真の味わいと土地との深い結びつきを提供していることを強調しました。

埼玉の観光資源

さらに、埼玉県ユニークな観光スポットについて情報を共有しました。美しい庭園と様々な花が見られる有名な大宮公園や、日本最古の神社の一つである氷川神社は、訪問者を引き付け、地域の豊かな歴史と文化を促進する場所のほんの一例ですが、これらの場所は観光にとって重要なだけでなく、コミュニティの交流の場となっています。

地元産業のダイナミズム

産業分野では、埼玉県が強力な製造業と技術革新を持つ重要な経済中心地であると位置づけられていることをアピールしました。電子機器や自動化の分野で名だたる企業やスタートアップ企業が存在しており、埼玉県のダイナミズムを示しています。

日系コミュニティの強化

「海外日系人大会 2024」に参加することは、日系人の絆を強化し、それぞれのコミュニティから持ち寄る多様な経験を深く理解する貴重な機会でした。埼玉県の農業、観光、産業の豊かさは、日本の移民が提供できる可能性を示しており、このようなイベントが世界中の日系コミュニティを結びつけ、インスピレーションを与える重要性を強調しています。



株式会社ティー・エス訪問

訪問日：2024年10月31日

場所：埼玉県上里町

主催会社：中央開発株式会社

訪問会社：株式会社ティー・エス

訪問中、インターン生たちはまず上里町の農業構造についての説明を受けました。私は、地域の農業の特徴、栽培されている作物、そしてその背景にある文化的な要素について詳しく話しました。この地域では、ネギの生産が非常に重要であり、何世代にもわたって受け継がれてきた技術や知識が活かされています。

その後、株式会社ティー・エスの生産施設を見学しました。ここでは、最新の農業機械が導入されており、効率的な生産が行われています。私がネギの栽培方法、植え付けから収穫、出荷までの流れを丁寧に説明しました。特に、収穫の際の手作業と機械化のバランスについて、インターン生たちは興味を持って聞いていました。

インターン生たちは、ネギの生産に使用される先進的な機械や、環境に配慮した農業技術に驚きを隠せませんでした。例えば、土壌の品質を保つための取り組みや、持続可能な農業を実現するための新しい技術の導入について話し合いました。

感想：

訪問を終えたインターン生たちは、日本の農業が持つ独自の技術と効率性に強い関心を示しました。特に、品質管理の徹底や、地域の伝統とモダンな技術の融合が印象に残ったようです。また、実際の現場での体験を通じて、国際的な視野を広げる貴重な機会となりました。彼らは、この経験を今後のキャリアに活かしたいと考えているようです。

この訪問は、インターン生たちにとって農業分野での実践的な知識を深めるだけでなく、異文化理解を深める素晴らしい機会となりました。今後もこのような交流が続くことを願っています。



2025/01/31

ジュントス・プログラム

弊社では、日本の外務省が主導する「ジュントス（JUNTOS）」プログラムの一環として、海外からのインターン生を積極的に受け入れています。

ジュントス・プログラムとは

「ジュントス」はポルトガル語で「一緒に」という意味を持ち、このプログラムは日本と発展途上国との間での文化交流や技術協力を推進する目的で実施されています。若者や専門家を日本に招き、日本国内の企業や団体、地域社会と交流しながら、実務体験を通じて相互理解を深め、知識・経験の共有を図ります。

弊社での取り組み内容

埼玉県に拠点を置く弊社では、以下の分野においてジュントス・インターン生を受け入れています：

- **農業体験：**

埼玉県の自然豊かな農地で、地元の農家と協力しながら、日本の農業技術や有機栽培の方法、季節ごとの作業（田植え・収穫・出荷など）を実際に体験していただきます。

- **観光・地域交流：**

埼玉の観光地や伝統文化（祭り、工芸、地域食文化など）を紹介し、訪問者としてではなく「地域の一員」としての視点で日本の地方文化に触れてもらいます。また、地域住民との交流を通じて、多文化理解を深める機会も提供しています。

目的と意義

この取り組みは単なる研修ではなく、インターン生と弊社スタッフ、そして地域住民との間での「相互学習」の場でもあります。日本の知識や経験を発展途上国の若者に伝えると同時に、私たちも彼らの視点や文化から多くを学んでいます。

今後も「ジュントス」の理念に基づき、国際協力と地域活性化を両立させる持続可能な取り組みを進めてまいります。



2025/05/21

REN ブラジル

ブラジルには世界最大の日系人コミュニティがあり、約 200 万人とも言われます。REN ブラジルは、その中でも若手世代が中心となって日伯関係の深化と未来志向の活動を進める組織として、今後の活躍が期待されています。REN ブラジルは、ブラジルにおける起業教育の実践を促進し統合することに焦点を当てた国家起業教育者ネットワークです。このイニシアチブは、教育者、教育機関、専門家を結集し、革新的な知識の開発と共有を進め、起業教育の影響を拡大するための経験とリソースの交換を容易にします。

知識の共有：栽培技術、生産管理、技術革新など、日本とブラジルの両国で応用可能なノウハウを共有します。

商業的パートナーシップ：農産物（たとえば、青ねぎなど）のブラジルへの輸出につながる可能性のある商業的な関係を構築・強化します。

投資可能性の評価：企業家たちは、製品の購入、技術協力、あるいは栽培プロセスへの参加など、地域への投資に関心を持つ可能性があります。

文化的・社会的な利点：ビジネス面だけでなく、このような訪問は文化的理解を深め、両国間の関係を強化する助けとなります。

地域のプロモーション：埼玉県の土壌条件、気候、インフラなど、栽培における地域特有の利点を紹介します。



ブラジルから日本へ移住してから、慣れない国で知らない人ばかりのところで、たくさんの人のやさしさに触れ、今日まで様々なことにチャレンジしてきました。その中で最も力を入れてきた活動が埼玉県とブラジル、日本とブラジルの交流の懸け橋としての活動です。

その活動をたくさんの人々に知っていただき、今年の 3 月 26 日に皇居にて開催された、宮中晩さん会に招待していただくという大変貴重な経験をしました。

宮中晩さん会では、様々な業界の著名人の方々と農業や教育など、自身の経験を交えながらの情報交換・共有することができました。

このような大変有意義な機会を得られたことに対し、感謝の気持ちを忘れず、日系ブラジル人のコミュニティの一員として今後もこれまでと変わらず埼玉県とブラジル間の橋渡し役はもちろん、日本とブラジル間の関係のさらなる発展に尽力してまいります。